

原子力損害賠償の支援枠組決定 事故に備え、「機構」設立

政府・原子力発電所事故経済被害対応チームは十三日の関係閣僚会議で、福島原子力発電所事故の損害賠償に関する政府支援の枠組みを決定した。原子力損害賠償の支払いに対応する機構を新設し、必要な資金を融通させ、被害者からの相談に当たるほか、将来の原子力災害に備え、東京電力以外の原子力事業者も参加させる。

これに先立ち、海江田万里経済産業相(原子力経済被害担当)は十日、東京電力からの国に対する原子力損害賠償に係わる支援要請を受け、①賠償総額に事前の上限を設けること、②迅速かつ適切な賠償を確実に実施すること、③原子力発電所の状態の安定化に全力を尽くすこと、④被害者の安全・生活にも従事者の安全・生活環境・経済面にも配慮⑤電力の安定供給と設備の安全性を確保するために必要な経費を確保⑥最大の限の経営合理化と経費削減⑦政府が設ける第三者委員会の経営財務の実態調査に応じる⑧金融機関から得られる協力の状況について報告—について、同社より確認した。

その上で、政府として、法令の枠組みのもと、国民負担の極小化を図ることを基本に、東京電力に特別な負担金を支払う。

12項目の分析結果まとめ

原子力学会 福島事故受け活動

日本原子力学会は九日、福島第一原子力発電所の事故とその対応について、十二項目から分析し、得られた教訓と、短期・中期に図るべき対策例を取りまとめた。

同学会では、福島原子力災害発生後、事故対応調査専門委員会を立ち上げ、技術分析分科会、放射線影響分科会、クリーンアップ分科会を設置し、学術・技術専門家集団としての立場から、事

今回の枠組み決定に伴い、電力事業形態のあり方を含め、エネルギー政策の見直しを検討し、所要の改革を進めるとも、一定期間後に、被害者救済、電力の安定供給、金融市場の状況など、必要に応じ、追加的措置を講ずることとしている。

適切な説明、地域経済支援を

全原協 浜岡停止受け、緊急要望

全国原子力発電所所在市町村協議会(会長 河瀬一治・敦賀市長)は十二日、政府に対し緊急要望書を提出し、一般の

—の十二項目に分析し、一年程度の短期に行うべき対策と、二、三年程度の中期にじっくり改革すべき対策の例として取りまとめている。

津波に対しては、「耐震設計で考慮していた津波の規模が不十分」、「海水の浸水により、安全上重要な機器が停止し事故の拡大を防げなかった」、「地下構造物の浸水防止が不十分であり復旧作業を妨げている」を教訓とし、津波の想定見直しや建物の水密性強化などを提言している。

また、原子力学会のクリーンアップ分科会では十日、福島発電所周辺の環境回復や廃炉に関する課題を、俯瞰的かつタイムリーに検討する「福島第一地域クリーンアッププロジェクト」の早期立ち上げを提言している。

IAEA調査団へ

政府は十七日、IAEA Aよりの福島第一原子力発電所事故に関する調査団を、五月二十四日(六月二日)に受け入れることを発表した。

調査団は、事故に係わる事実関係の調査を行う上で、六月二十一日、二十四日のIAEA関係会議に、報告する予定となっている。政府・原子力災害対策本部内に、事務レベルのチームを設け、関係府省の協力を得て、六月初旬までに、報告書を公表する。

災害発生後、同協議会が国に要望するのは二度目のこと。

今回の要請では、事故が未だ収束しない状況下、浜岡発電所の全面停止要請に至った経緯、科学的根拠を具体的に示し、住民始め国民に対し、説明するよう求めている。

さらに、原子力発電所の運転停止により、立地地域の雇用・経済等に支障が生じぬよう、交付金措置など、全面的支援を行うよう訴えた。

また、福島の原子力災害に関して、地域の意向を尊重した補償、自治体への支援も要望した。

原子力 ワンポイント



日本の放射線・放射能基準

—福島第一原発事故(番外編⑥)

チェルノブイリでは放射性セシウムで汚染された食物を洗ったり、皮をむいたり、煮たり、塩水につけたりして、放射性セシウムを除去しています。

チェルノブイリでは放射性セシウムで汚染された食物を洗ったり、皮をむいたり、煮たり、塩水につけたりして、放射性セシウムを除去しています。

して食べているんだらう。

カワさん チェルノブイリ汚染地域の住民がどのようにして汚染された食材を調理して食べるのかを説明した冊子がウクライナ医科学アカデミーの専門家が出版され、その日本語版「チェルノブイリ放射能と栄養」が、チェルノブイリ事故に関連した日本とウクライナの共同研究に参加した

ギ、ニンニクについて洗い方で表面にある放射性物質の半分以上を洗い除くことができる効果を表しました。

ゲンくん 焼いたり揚げたりすることはできません。この調理法は勧められません。全体的に放射線物質が食材中に残ってしまっている状態です。煮ることで放射線物質の濃度を下げることができ、魚は、うろこ、ひれ、頭、内臓を取り除いた後に、五十〜百%の食塩水に二十〜二十四時間浸します。時々水を取り替えることでセシウム含有量の八七〜九割を除去できます。野菜や果物は塩漬けにすれば、放射性セシウムはほとんどの生材料中の濃度の半分になります。

チェルノブイリでの放射能汚染食品対策

などを防ぐために、表面に粘性物質がある野菜や果物はアルカリ溶液(食品ソダ)で洗います。

ゲンくん 洗う前に何かすることは無いんですか。

カワさん カブ、ネ

キノコの形状	セシウム-137含量 (%)
1. 採りたてのキノコ	100
2. 洗浄したキノコ (3回水を交換)	45~50
3. 15分煮たキノコ (煮汁を取替え)	20~25
4. 30分煮たキノコ (煮汁を取替え)	7~12

カワさん 肉については、二十四時間の間、調理用の食塩水(四%)

カワさん 今までの